# Clear View+

# クリアビュープラス

# 取扱説明書

この度はクリアビュープラス（以下　本機）をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。 本機はロービジョンの方々をサポートするためにオプテレック社が開発したオートフォーカス据置型拡大読書器です。 本機は、読書や筆記、写真を見たり、工作をしたり、色々な場面で役立ちます。

本機は簡単操作で見たいものをカラー、白黒、白黒反転で見ることができ、なおかつ明るさやコントラストも調節できます。本機はご家庭や学校、職場で大変役立ちます。

本機を組み立てる前に、この取扱説明書を最後まで読んでください。 取扱説明書をお読みいただき、ご質問やご不明な点がございましたら、お客様相談窓口もしくはご購入いただきました販売店にお問い合わせ下さい。

＊この取扱説明書は現在販売している本機に対応していますが、モニタや、モニタテーブル、オプションパックについては仕様の変更により対応出来ないものが出てくる可能性があります。

目次

安全なご使用のために ････････････････････････････ 4

安全上のご注意･････････････････････････････････ 5

１．　本機の概要 ･･････････････････････････････13

２．　本機の構成 ･･････････････････････････････13

３．　オプション品の案内･････････････････････････13

４．　本機を起動する････････････････････････････14

電源スイッチ･･････････････････････････････15

倍率調整････････････････････････････････15

カラーモード変更････････････････････････････15

コントラスト調整･･････････････････････････････16

焦点固定････････････････････････････････16

テーブルブレーキ･･････････････････････････17

フットスイッチ･･････････････････････････････17

５．　オプションパックアドバンスについて･･････････････18

セミカラーボタン････････････････････････････18

ポインタ（位置表示）ボタン････････････････････18

ライン･マスキングボタン････････････････････････18

ライン･マスキング縦横変更ボタン････････････････19

ライン･マスキング位置変更 / 映像切替ボタン･･････19

６．　液晶モニタとモニタアームについて（オプション）・・・・・・20
７．　『故障かな？』と思ったら・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
電源を入れても映像が映らない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
焦点が合わない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・21
映像が薄い灰色に見える・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
パソコンの画像が表示されない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
XYテーブルが動かない・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・22
初期設定に戻す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
８．　お客様相談窓口とサポートについて・・・・・・・・・・・・・・・・・・23
９．　仕様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・24

# 安全なご使用のために

本機を誤った使用方法でご使用頂きますと、火災や感電といった事故の原因となることがあり危険です。以下の注意事項を必ずお守り下さい。

◎「安全上のご注意」の内容を必ずお守り下さい。

◎万一、異常が起きたら、電源スイッチを切り、電源ケーブルをコンセントから抜き、その他のケーブルを本機から抜いた後にお求め頂きました販売店又は弊社までご連絡下さい。

◎故障が起きたら、修理が完了するまでは再度本機を使用しないで下さい。

# 安全上のご注意

安全にお使いいただくために…
必ずお守り下さい

この「安全上のご注意」は本機を正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために守っていただきたい事項を示しています。
次の表示と図記号の意味をよく理解してから本文をお読み下さい。

## 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

## 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

# 図記号の意味

| 図記号 | 説明 |
|---|---|
|  | 名称：注意<br>意味：注意（しなければならないこと）を示すもので、具体的な注意内容は近くに文章や絵で示します。 |
|  | 名称：禁止<br>意味：禁止（してはいけないこと）を示すもので、具体的な禁止内容は近くに文章や絵で示します。 |
|  | 名称：風呂場・シャワー室での使用禁止<br>意味：本機を風呂場やシャワー室で使用することで火災・感電などの損害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。 |
|  | 名称：接触禁止<br>意味：接触すると感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。 |
|  | 名称：分解禁止<br>意味：本機を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示すもので、図の中に具体的な禁止内容が書かれています。 |
|  | 名称：強制<br>意味：強制（必ずすること）を示すもので、具体的な内容は近くに文章や絵で示します。 |
|  | 名称：電源プラグをコンセントから抜け<br>意味：使用者に電源プラグをコンセントから抜くよう指示するもので、図の中に具体的な指示内容が書かれています。 |

# 警告

本機の分解や改造を行わない。火災や感電等の事故の原因となります。点検や修理は必ずお求めいただきました販売店または弊社に依頼して下さい。

本機を爆発物、引火物の周辺で使用しない。
火災、爆発等の原因となります。

本機の内部に水や金属類（ヘアピン、クリップ等）を挿入しない。感電等の事故の原因となります。

万一水や金属類が入ったときは、すぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。
それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。

本機の電源は日本国内の商用電源（AC100V 50／60Hz）のみで使用する。海外での使用やこれ以外の電源での使用は故障、火災や感電等の事故の原因となります。

電源ケーブル・接続ケーブルは机や棚、本機や他の重量物の下に挟まらないようにする。また、ストーブ等の熱器具の付近に近づけない。
ケーブルが傷つきますと火災や感電等の事故の原因となります。

---

本機より煙が出ている場合や異常な音・臭いがする場合、本機を転倒・落下した場合やキャビネット等が破損したような場合にはすぐに本機の電源を切り、電源ケーブルと接続ケーブルを抜く。それから、お求めいただきました販売店または弊社まで連絡して下さい。
異常状態や故障状態のままで使用しますと、火災や感電等の事故の原因となります。

---

雷が鳴りはじめたら、本機、電源プラグ、ケーブル等に触れない。感電の原因となります。

---

必ず付属のACアダプタを使用する。他のACアダプタを使用すると、火災や感電の原因となります。

# 注意

本機は、水平で本機の底面積とテーブルの移動範囲よりも十分に広い安定した机の上等で使用する。
傾斜のある場所や不安定な場所、重量物が積載できない場所で使用しますと、転倒等による事故の原因となる場合があります。

本機は縦置き設置です。本機の機体印刷文字が正立の状態で使用する。
縦置き以外での使用は転倒等による事故の原因となる場合があります。

本機を気温・湿度の非常に高い場所やほこり・粉塵の多い場所で使用しない。火傷等の事故の原因となる場合があります。
ご使用に適した温度は0～40℃、湿度は30～80%です。

本機を直射日光の当る場所やストーブ等の熱器具の付近に置かない。本機内部の温度が上昇し、火傷や火災等の事故の原因となる場合があります。

濡れた手で電源ケーブル・接続ケーブルの着脱を行わない。感電等の事故の原因となる場合があります。

---

ケーブルの着脱にはケーブルのプラグ部を持って確実に行う。ケーブルを無理に引っ張ったり、無理に曲げたりしますとケーブルが傷つき、火災や感電等の事故の原因となる場合があります。

---

本機の電源の投入は各ケーブルの接続が全て終了してから行う。また、ケーブルの着脱は電源が投入されていないことを確認してから行う。感電等の事故の原因となる場合があります。

---

電源コンセントの差し込み口付近はほこりがたまらないよう、定期的に清掃する。火災等の事故の原因となる場合があります。

---

本機が出力する照明や表示光に目を近づけて長い時間覗きこまない。視力の低下などの事故の原因となる場合があります。

清掃等のお手入れの際には、本機の電源を切り、電源ケーブルをコンセントから抜いてから行う。電源を投入したままや、電源ケーブルを接続したままの状態でお手入れをすると、感電等の事故の原因となる場合があります。

購入後の定期的な点検や内部の清掃は、1年程度を目安に、購入した販売店または弊社に相談する。
本機の内部にほこりがたまったまま使用しますと、火災や感電の原因となる場合があります。

本機を足場や踏み台にしたり、上に乗ったりしない。故障や転倒による事故の原因となる場合があります。
特に小さなお子様のいる環境ではご注意下さい。

---

テーブル移動用のレールには手を触れない。挟まれて事故の原因となる場合があります。

---

本機にモニターテレビを積載して使用する場合には、モニターテレビが転倒しないよう、付属の保持バンドを必ず併用する。
転倒による事故の原因となる場合があります。

---

本機を移動する場合には積載されたモニターテレビを本機から下ろし、電源ケーブル・接続ケーブルを抜いてから移動する。モニターテレビが積載されたままやケーブルが接続されたまま移動すると、感電や積載物の落下による事故の原因となる場合があります。

---

本機を長期間使用しないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜く。火災の原因となる場合があります。

## １．本機の概要

本機はVGA出力構造になっています。 CRTモニタや、TFTモニタのようなVGAに対応したモニタであれば、どのようなモニタでも接続し、使用できます。

## ２．本機の構成

- ●ベースユニット・・・コントロールパネル、XYテーブルで構成されています。
- ●エレクトロニクスボックス・・・カメラユニット、ライト、入出力端子で構成されています。
- ●モニタテーブル・・・モニタを置く台です。
- ●ACアダプター、電源ケーブル
- ●取扱説明書、簡単マニュアル、接続方法説明書

## ３．オプション品の案内

- ●モニタアーム・・・液晶モニタを使用する際、画面の高さを変えられるように、オプションでモニタアームを付けることができます。
- ●オプションパックアドバンス・・・カラーモードやマスキング機能、パソコン接続などの便利な機能を追加することがで

きます。

●フットスイッチ・・・パソコン画面と読書器の画面を切り替えることができます。

4．本機を起動する

本機を組み立てる前に、全てのパーツを開封してください。同梱されている接続方法説明書を見ながら、本機を組み立ててください。組み立てが完了したら、コンセントを差し込んでください。 コンセントを差し込みますと、XYテーブル手前についている大きなボタンの周囲が赤く点灯します。30秒ほどお待ちいただきますと、消灯しますので、消灯してから、赤い電源ボタンを押して、電源を入れてください。 続いてモニタも電源を入れてください。 どちらも電源を入れてから、10秒程度待つと、モニタに映像が映し出されます。 照明の明るさは、電源を入れてから約1分後に最も明るい状態になります。

画像が映りましたら、簡単マニュアルを開封してください。 簡単マニュアルにはコントロールパネルの絵が書いてあり、この取扱説明を理解するうえで、役立ちます。

XYテーブルの手前に手を置くとコントロールボタンを押しやすく、またテーブル制御もしやすくなります。

## 電源スイッチ

テーブル手前の小さな赤いボタンが電源ボタンです。 モニターは別に電源を入れる必要があります。 電源を入れると、前回電源を切る際のカラーモード、拡大率で映像が表示されます。

## 倍率調整

電源ボタンの手前にある大きなツマミが、倍率調整ツマミです。 このボタンを時計の方向に回すと、映像が拡大され、時計と反対の方向に回すと、映像は縮小されます。

## カラーモード変更

倍率調整ボタンの中心にあるボタンが、カラーモード変更ボタンです。 このボタンを押すと、カラー、白黒、高コントラスト白黒、白黒反転の４段階でカラーモードを変更できます。

## コントラスト調整

倍率調整ボタンの右上にあるボタンが、コントラスト調整ボタンです。 左の『三日月マーク』を押し続けると黒が強くなっていき、右の『太陽マーク』を押し続けると白が強くなっていきます。

## 焦点固定

倍率調整ボタンの右上にあるボタンが、焦点固定ボタンです。

クリアビューは電源を入れるとフルオートフォーカス機能が働くようになっています。しかし、フルオートフォーカスでは文字を書くときや、物に色を塗るときには手に焦点があってしまい、文字が書きにくくなります。

そこで、焦点固定ボタンを押すことで、焦点を固定することが出来ます。 手を入れる前に、焦点固定ボタンを押すと、焦点が固定され、カラーモード変更ボタンの周りが赤く点滅します。

この状態では、焦点が固定されているため、新たに手や物をカメラの下に差し込んでも、フォーカスしなおすことはありません。

フルオートフォーカスに戻すためには、再度焦点固定ボタン

を押してください。 オートフォーカスに戻り、カラーモード変更ボタンの周りの赤い点滅が消えます。

## テーブルブレーキ

XYテーブル手前の下面には、ブレーキレバーがついています。 このレバーを軽く握ると、ブレーキが作動し、テーブルは動かなくなります。 ブレーキを解除するには、再度ブレーキレバーを軽く握ってください。

本体の電源を切ると、自動的にブレーキがかかるようになっています。 本体の電源を切る際は、XYテーブルを元の位置に戻してから電源を切るようにしてください。

## フットスイッチ（オプション品）

オプション品のフットスイッチを使うと、読書器の画面と本体に接続されている他のAV機器の画像とを切り替えることが出来ます。

## ５．オプションパックアドバンス（オプション品）について

オプションパックアドバンスでは、以下の機能が追加されます。

### セミカラーボタン

セミカラーボタンを押すと、7種類のカラーとその反転の中から見やすいモードを選ぶことができます。 ２秒間ボタンを押し続けることで、白黒・白黒反転モードに戻すことができます。

### ポインタ（位置表示ライト）ボタン

ポインタボタンを押すと、テーブルの中央が照らされます。 これはカメラがどこを写しているかを示すライトで、ライトが指し示す部分がモニターの中心に写し出されます。 ライトが示した部分にペンを差し込むと、画面の真ん中にそのペンが写ります。

### ライン・マスキングボタン

このボタンを押すと、ライン、マスキング、ラインやマスキング

のない標準画面の3パターンを順番に切り替えることができます。 ライン機能は、画面に2本線を入れる機能です。 この機能は、画面のどこを読んでいるかの確認に役立ちます。 マスキング機能は画面の一部のみを表示し、残りの部分を隠してしまう機能です。 この機能は、画面がまぶしく感じる方が、まぶしさを抑えるために役立ちます。

　また、このボタンを左右に回すことにより、ラインやマスキングの幅を調節することができます。

※ライン･マスキング機能は、高コントラストモードでのみ作動し、

　カラーモード、白黒モードでは作動しません。

　ライン・マスキング縦横変更ボタン 

　このボタンを押すと、ラインやマスキングの縦、横を切り替えることができます。

　ライン・マスキング位置変更ボタン　/　映像切替ボタン

　このボタンを左右に回すことにより、ラインやマスキングの位置を調節することができます。

また、パソコンなどのAV機器を本体に接続している場合、このボタンを押すことで読書器の映像と、接続されている機器の映像とを切り替えることができます。 本体にAV機器が接続されていない場合、このボタンを押すと、ラインやマスキングなどのない標準画面に戻ります。

## ６．液晶モニタとモニタアームについて（オプション）

　液晶モニタ（オプション）とモニタアーム（オプション）を装着した場合、液晶モニタを上下させ、見やすい高さや角度に調節することができます。 モニタの高さを調節する際は、両手でモニタをしっかりと持ち、動かすようにしてください。 楽な姿勢で見られるようにモニタの高さや角度を調節することで、疲れにくくなるだけでなく、まぶしさを軽減できることがあります。

## ７．『故障かな？』と思ったら

### ●電源を入れても映像が映らない

— 電源がきちんと入っているかを確認してください。（電源ボタンはテーブル手前にある、赤い小さなボタンです。）

— 全てのケーブル、本体と周辺機器が正しく接続されているかを確認してください。

— モニタの電源が入っているかを確認してください。

### ●焦点が合わない

— 焦点固定ボタンが作動していないかを確認してください。焦点固定ボタンが作動している場合、カラーモード変更ボタンの周りが赤く点滅しています。）

— メガネ拭き用の布のような、きれいなやわらかい布で、カメラレンズを拭いてください。

— メガネ拭き用の布のような、きれいなやわらかい布で、モニタ画面を拭いてください。

●画面が薄い灰色に見える、またはコントラストが充分でない

— カラーモード変更ボタンを押して、高コントラストモードに合わせてください。

— コントラスト調整ボタンで、コントラストを調整してください。

— モニター自体の明るさレベルを調節してください。

●パソコンの画像が表示されない

— オプションパック アドバンスがインストールされているかを確認してください。

— パソコンと本体が正しく接続されているかを確認してください。

— 画像切り替えボタンを押しているかを確認してください。

— パソコンをモニタに直接接続して、画像が正しく出るかを確認してください。

（この時、画像が出なければ、パソコンに問題があります。）

●XYテーブルが動かない

— XYテーブル手前下面にある、テーブルレバーを握って、ブレーキを解除してください。

— テーブルに動きを阻害する物体が挟まっていないかを確認

してください。

※初期設定に戻す

万が一、操作が困難になった場合は、初期設定に戻すことができます。 本体の電源を切り、３秒待ってから、再度電源ボタンを3秒間押し続けてから、指を離してください。 これで初期設定に戻り、問題が解決する場合があります。

## ８. お客様相談窓口とサポートについて

クリアビュープラスの組み立て、操作方法などに際して、ご質問やご不明な点がございましたら、下記のお客様相談窓口にお問い合わせいただくか、ご購入いただきました販売店へご連絡願います。

お客様相談窓口： ０１２０－８８６６１０

平日９:００～１７:３０

（土曜・日曜・祝日は休み）

## ９．仕様

| フォーカス | オートフォーカス、焦点固定可能 |
|---|---|
| 倍率 | ２．６～50倍 （17型モニター使用時） |
| サイズ | 44×50cm |
| 電源 | 110－240V AC、12V/8．3A MAX |
| 周波数 | 50－60Hz |
| 使用可能温度 | 5～35℃ |
| 使用可能湿度 | 70%未満 結露なきこと |
| 保管･輸送可能温度 | －10～40℃（未開封） |
| 保管･輸送可能湿度 | 95%未満 結露なきこと （未開封） |
| 本体保証期間 | ２年間 |

※仕様は予告なく変更する場合がありますので、予めご了承下さい。

製造元 ： Optelec

輸入･販売元 ： 株式会社タイムズコーポレーション